年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 3 月 31 日
● 事　業　名　：子ども・若者を育む地域創造事業
● 資金分配団体　：一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人スイスイ・すていしょん
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
①地域住民にとって頼れる機能を備えた居場所の提供。 子ども食堂（月 1 回）・自然体験会（年 2 回）・学習体験会（年 1 回）	①各事業の参加者数 ②事業開始時と事業終了時に実施するアンケート結果の数値 ③参加者の状態変化	子ども食堂 （月 1 回・年間延べ人数 300 人） 自然体験 （年 2 回・年間延べ人数 25 人） 学習会 （年 1 回・年間延べ人数 15 人）	2022 年 3 月	**【子ども食堂】**月 1 回の実施を継続的に行えており、参加者数 756 人の内、課題を抱える世帯(ﾔﾝｸﾞｹｱﾗｰ・ひとり親家庭など)の掘り起こしから解決に向けた他機関連携(情報提供や情報共有)が実施できており達成。 **【自然体験(木工ワークショップ)】**年 1 回の実施となり実施回数については減少したが、参加者数 25 人の内、課題を抱える世帯(不登校・ひとり親家庭)からの参加があり解決に向けた一歩を踏み出した点については達成。	総体的に見ると計画通りに進んでいる状態。

		課題を抱える世帯を掘り起こし、各々の課題解決に向けた支援を提供し、解決の目途を立てるもしくは、解決した状態。		**【学習会(PC 教室)】**年 1 回と実施回数は達成したが、参加者数が 6 人と目標を下回った。また、課題を抱える世帯の掘り起こしには至らず。 **【参加者の状態変化】**各イベントの前後を比較したアンケートでは、子ども食堂の場が子ども同士また地域のおとなとのつながりの場となっている様子がうかがえる。さらに、自然体験では、不登校生徒が外出し他者と交流が出来たことや作品の完成度に自己肯定感が上がったとのインタビューが行えている。また、学習体験では学習内容を通じて、これまでにないスキルが身に付いたとの感想が寄せられている。 それらの結果から概ね目標の達成に至ったと考えている。	
②地域住民がスタッフの役割などを担う活躍可能な場の提供。 子ども食堂（月 1 回） 自然体験会（年 2 回） 学習体験会（年 1 回） 就労体験会（年 6 回）	①活躍の場の活用数 ②事業開始時と事業終了時に実施するアンケート結果の数値 ③参加者の状態変化	子ども食堂（月 1 回・年間述べ人数 24 人） 自然体験(年 2 回・年間述べ人数 4 人） 学習会（年 1 回・	2022 年 3 月	**【子ども食堂】**実施回数 12 回であり達成したが、人数は 11 人と目標値を下回った状態。 **【自然体験】**実施回数 1 回であり、人数は 0 人と目標値を下回った状態。 **【就労体験会】**実施回数は 6 回であり達成したが、人数は 1 人と目標値を下回った状態。 **【ボランティア体験会】**実施回数は 1 回であ	その他実施回数と実施内容の計画見直しが必要な状態。

ボランティア体験会（年6回）		年間述べ人数 2人） 就労体験会（年 6回・年間述べ人数12人） ボランティア体験会（年6回・年間述べ人数12人） 各事業の機会を人材育成の場として活用し、育成される人が後の人生を、人とのつながりの元、豊かに過ごすことができる状態。		り、人数は1人で共に目標値を下回った状態。 **【状態変化】**子ども食堂のボランティアスタッフが他者とのコミュニケーション力が向上し、就労の実現につながった。 **【その他】**本アウトプットにおけるアンケートの実施が行えなかった。	
③地域にて困りごとに対応した相談の場の提供。 相談会（月2回程度）	①相談者数 ②抱える課題の解決度合い ③支援終盤に実施するアンケート結果の数値	生活相談会（月 2回程度・年間12人以上） 各々の抱える課題に応じた相談が	2022年3月	実施回数は36回であり、相談者数は28人であった。実施回数及び相談者数とも目標値を上回った状態。解決度合いについては、比較的軽微な相談(感染症・自転車盗難ほか)が中心であり、都度の対応にて迅速に課題解決につながっている。また、就労等の専門相談に	計画より進んでいる状態。

		でき、それらに対する助言、情報提供等を通じて、課題解決を図り、来談者が安心して暮らせる状態。		関しては、就労実現者は1人であり、その他(職場定着支援・内定後の対応ほか)は3人であった。ケース毎の対応により大半が課題解決につながっている状態。 【その他】総じて相談できる場としての活用は定着していると思われるが、結果、安心して暮らせる状態にまでなっているかは、現段階ではインタビューが行えていない。	
④地域住民が積極的に参加できる事業運営を行う。	①各事業の参加者数 ②各事業の新規参加者数 ③各事業の新規スタッフ数 ④事業開始時と事業終了時に実施するアンケート結果の数値	地域に関係するさまざまな人材が関わり、当法人を地域の皆の法人として、運営する状態。	2023年3月	最終年度の目標達成に向け調整段階であり、具体的な活動を実施する状態にはなかった。しかしながら、子ども食堂では毎回新たな子どもの利用が見られる他、流入住民のなかには団体に興味を持つ方もおられ、今後、取り組みへの参加を促す予定。	計画通り進んでいる。

＊進捗状況：1計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況

A：変更項目 □変更なし　□短期アウトカムの内容　☑短期アウトカムの表現　　☑短期アウトカムの指標　☑アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・子ども食堂を集合型(対面方式)からテイクアウト方式へ変更し対応 ・各種イベントの人数制限を行い実施 ・感染拡大防止策(検温、換気、消毒など)の徹底

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している □報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☑その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）: 購入した備品(PC や周辺機器・タープやテーブル等)へのシール貼付
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） なし 2.広報制作物等 パンフレット・団体 Web サイト・ブログ・各種イベントチラシ 3.報告書等 月次会議に伴い作成 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

なし

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　□整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
□全て公開した　□一部未公開　☑未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： 失念していたため。最終年度中に公開。
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
□はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 変更なし

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　□いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：□内部に窓口を設置　　□外部に窓口を設置　　☑ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4.	関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
	□はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：失念していたため。
5.	コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
	☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.	報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
	☑内部監査を実施　　□外部監査を実施　　□実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

献金箱